

速 報

各関係機関の長 殿

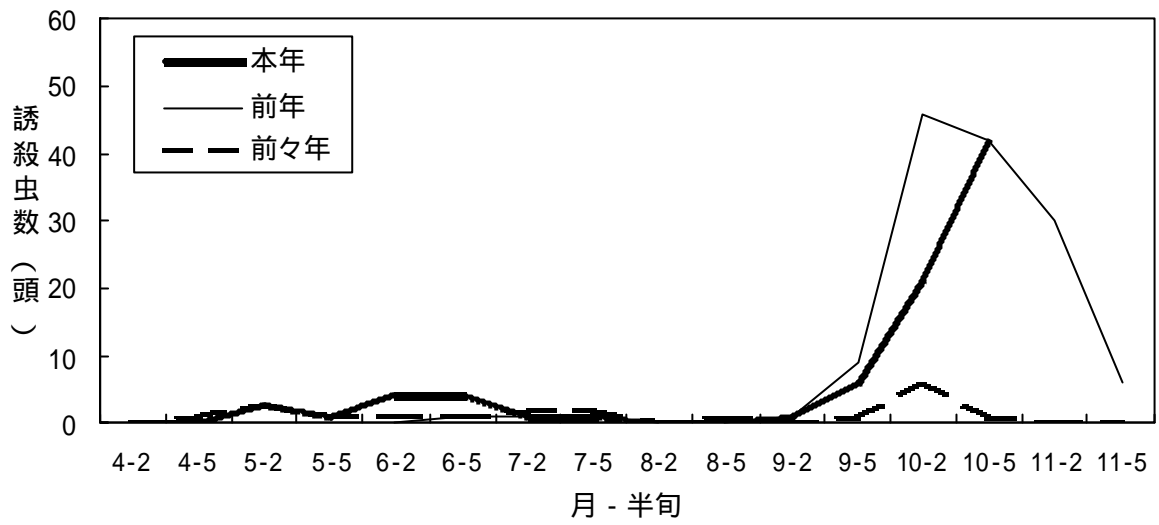
福岡県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、病害虫発生予察速報第8号を発表したので送付します。

平成13年度病害虫発生予察速報第8号

- 1 対象作物 野菜・花き類
- 2 病害虫名 オオタバコガ
- 3 発生状況及び今後の予想
  - (1) 広川町に設置しているフェロモントラップの誘殺虫数は、9月2半旬から現在まで増加傾向で推移している。（第1図参照）
  - (2) 冬キャベツでの寄生は10月2半旬から認められ、発生ほ場率も漸増しており、10月5半旬の寄生株率は平均3.8%（前年：1.8%、前々年：0.6%）であった。
  - (3) イチゴでも寄生が認められ、10月5半旬の寄生株率は平均0.3%（前年：0.2%）であった。
  - (4) その他、レタス、トマト、アスパラガス、キク、カーネーションなどでも被害を確認している。今後も、オオタバコガによる加害が増加する恐れがあり注意が必要である。
- 4 防除上注意すべき事項
  - (1) 本虫は連続的に発生するため、ほ場内をよく観察して早期発見に努める。
  - (2) 中・老齢幼虫になると花蕾や果実に食入し、十分な薬剤の効果が期待できないので、防除効果が高い若齢幼虫期に防除を徹底する。
  - (3) 果菜類では、被害果の早期摘果と処分は、その後の発生を抑制するのに有効である。また、摘心した腋芽や花蕾、摘果した果実などに卵や幼虫が寄生している場合があるので、ほ場内やその周辺に放置しない。
  - (4) 防除薬剤については、野菜及び花き・花木の各病害虫防除基準を参照する。また、農薬安全使用基準を守り、危被害防止に努める。



第1図 フェロモントラップによるオオタバコガの誘殺虫数の推移  
(八女郡広川町)